



証券コード：9913

# 日邦産業株式会社

証券コード：9913

## 2024年3月期 決算説明資料

2024年 5月15日  
代表取締役社長  
岩佐 恭知

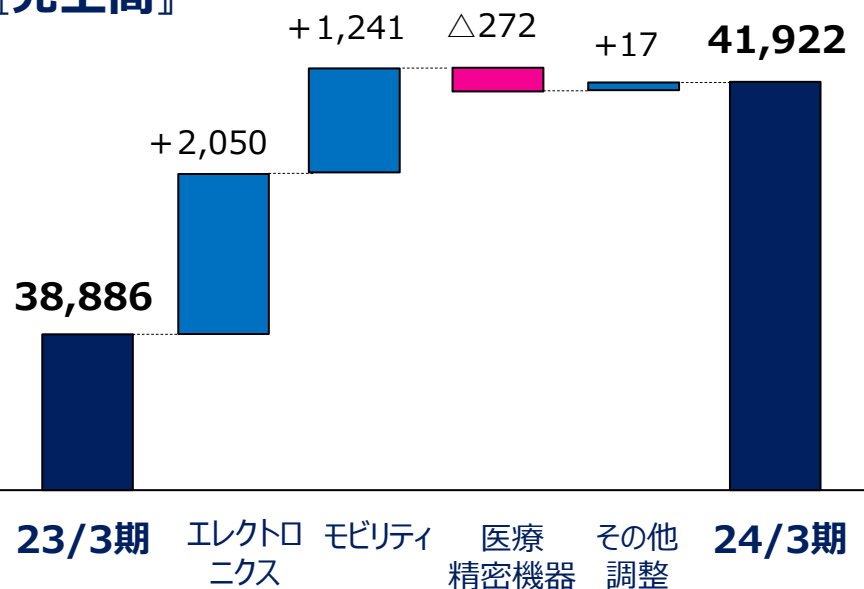
# 2024年/3月期 連結業績（1）



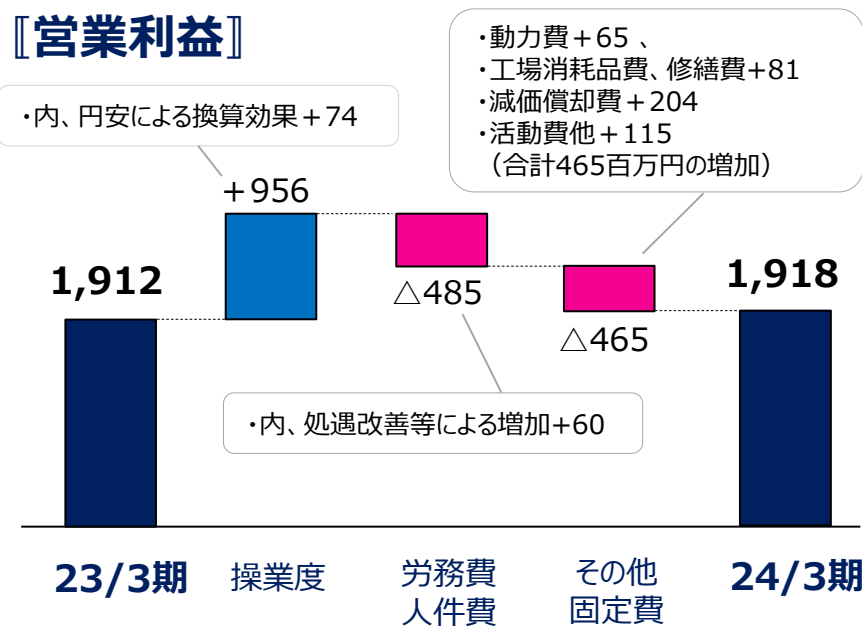
（単位：百万円）

科目	23/3期 実績	24/3期 計画	24/3期 実績	前年比	増減額
売上高	38,886	38,900	<b>41,922</b>	108%	+3,036
営業利益	1,912	1,830	<b>1,918</b>	100%	+6
経常利益	1,871	1,810	<b>2,150</b>	115%	+279
当期純利益	1,269	1,270	<b>1,457</b>	115%	+188

## 【売上高】



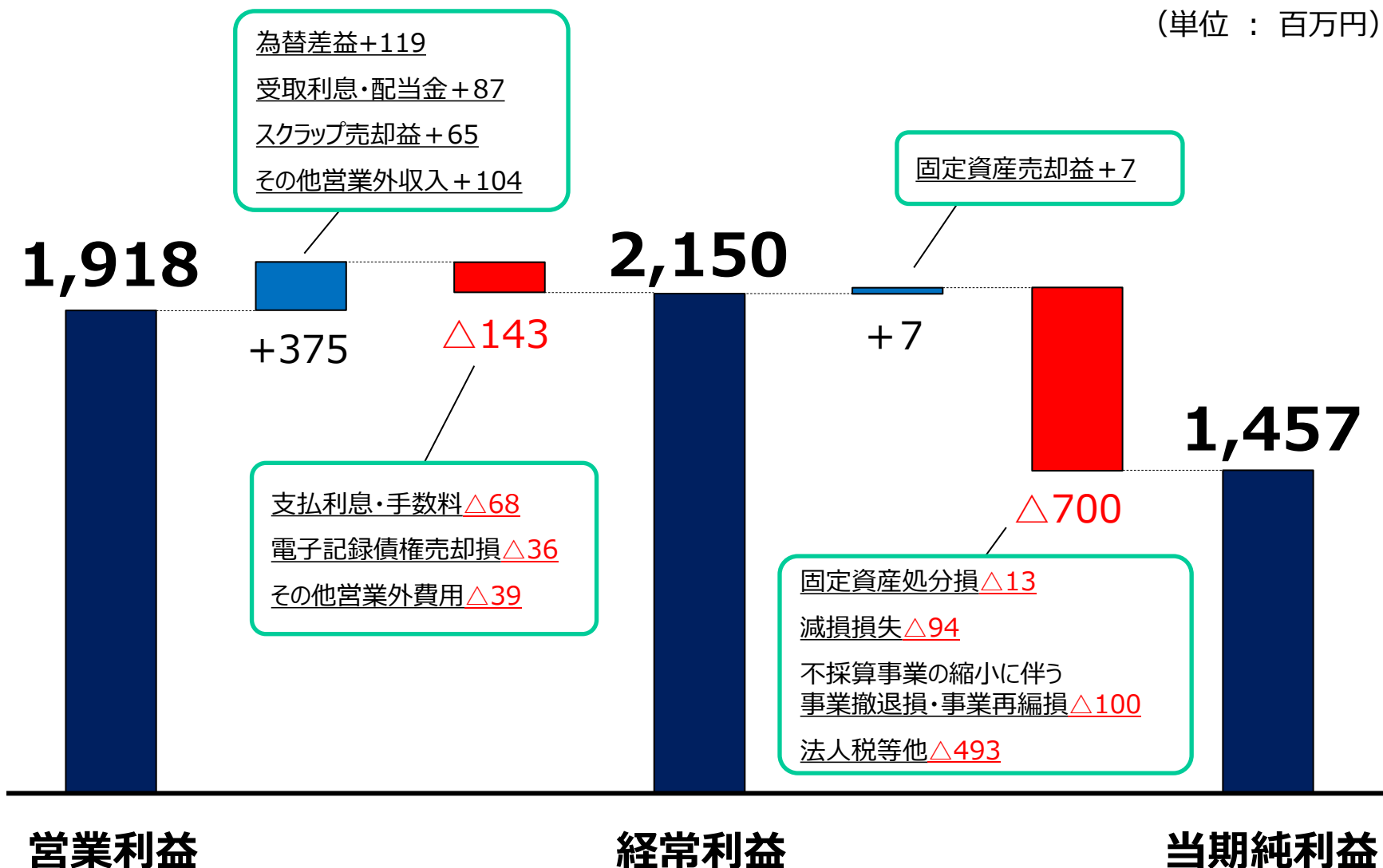
## 【営業利益】



# 2024年/3月期 連結業績（2）



（単位：百万円）

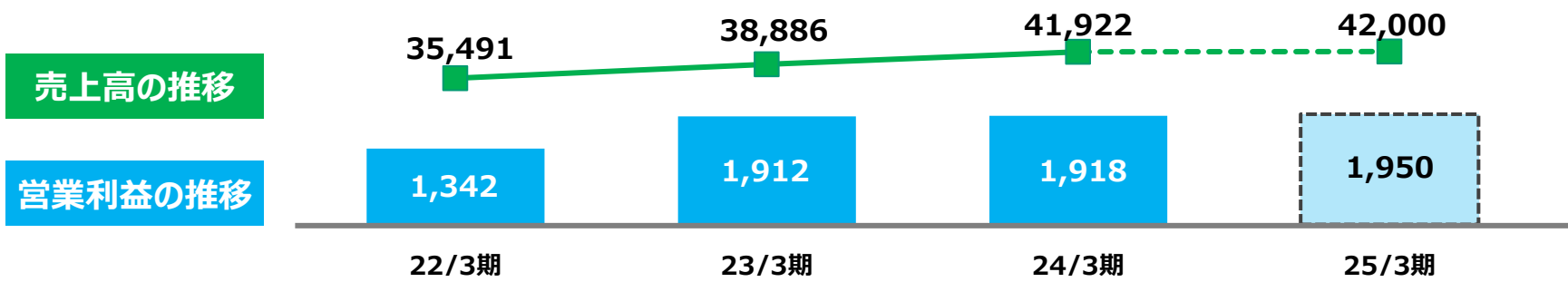


# 2025年/3月期 連結業績の見通し



(単位：百万円)

科目	24/3期 実績	25/3期 見通し	前年比	補足コメント
売上高	41,922	42,000	100%	1. 連結通期業績の見通し 25/3期の当社グループを取り巻く環境は、①エレクトロニクスにおけるスマートフォン関連部材の調整局面が継続していること、②モビリティにおける一部の自動車メーカーの不正問題による稼働停止の影響と、アセアンの自動車市場の落ち込みによる影響が読み切れない状況ではありますが、事業ポートフォリオマネジメントに沿った事業の入れ替えを進めつつ、新たなビジネスモデルの構築を通じて、「新製品・新商材」を開発するとともに積極的な販促活動を展開してまいります。 このような環境認識のもとに、事業の入れ替えと成長投資に伴う増加費用を織り込みますと、25/3期の売上高、営業利益は、 <u>ほぼ前年並み</u> となる見通しです。
営業利益	1,918	1,950	102%	
経常利益	2,150	1,950	91%	
当期純利益	1,457	1,380	95%	
年間配当金	1株当たり 74円(予定)	1株当たり 76円	+2円	

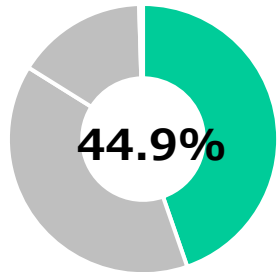


# セグメント別業績（エレクトロニクス）



（単位：百万円）

## <売上高構成比>



増収

増益

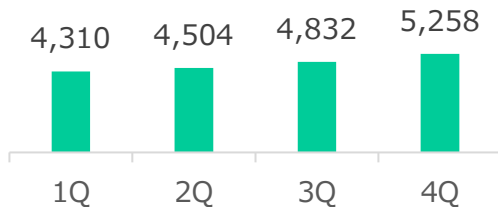
## 24/3期の業績概況

	23/3期 累計	24/3期 累計	前年比	増減額
売上高	16,854	<b>18,904</b>	112%	+2,050
営業利益	1,245	<b>1,272</b>	102%	+27

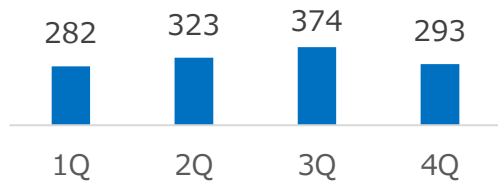
- スマートフォン関連部材の生産調整が継続した影響と、タイ（コラート）工場のドライフィルム事業立ち上げに伴う先行費用の影響等を受けた。
- 一方、通信基地局や生成AI関連のサーバー向けの配線板材料の受注が好調に推移し、ベトナム工場のドライフィルム事業と沖縄工場のウエハ研磨用キャリアの受注が堅調に推移し増収増益。

## ■24/3期 業績推移（Q毎）

### <売上高>



### <営業利益>



## 25/3期の業績見通し

	24/3期	25/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	18,904	<b>19,000</b>	101%	+96
営業利益	1,272	<b>1,350</b>	106%	+78

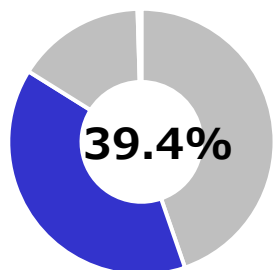
### ■増減要因

- スマートフォン関連部材の生産調整と、タイ（コラート）工場のドライフィルム事業立ち上げに伴う先行費用の影響が継続するものの、半導体関連部材の受注回復と、利益率の高い配線板材料、ウエハ研磨キャリアの受注が引き続き堅調に推移する見通しで、エレクトロニクスセグメントとしては、増収増益となる見通し。

# セグメント別業績 (モビリティ)

(単位：百万円)

## <売上高構成比>



増収

増益

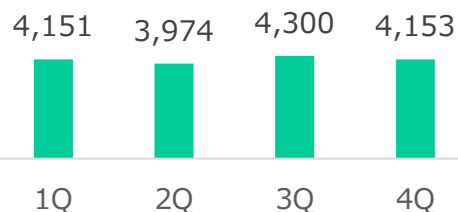
## 24/3期の業績概況

	23/3期 累計	24/3期 累計	前年比	増減額
売上高	15,337	<b>16,578</b>	108%	+1,241
営業利益	1,535	<b>1,543</b>	101%	+8

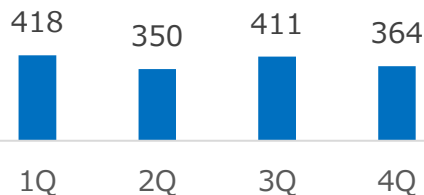
- タイ（バンコク）工場の中国向けパワートレイン系部品の受注が鈍化したことに加え、一部の自動車メーカーの不正問題による稼働停止の影響を受けたこと、あわせて資源価格（動力費を含む）の高騰の影響等を受けた。
- 一方、国内顧客の生産回復が進み、好調な受注が継続したことに加え、インドネシア工場の受注が堅調に推移したことにより増収増益。

## ■ 24/3期 業績推移 (Q毎)

### < 売上高 >



### < 営業利益 >



## 25/3期の業績見通し

	24/3期	25/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	16,578	<b>16,600</b>	100%	+22
営業利益	1,543	<b>1,550</b>	100%	+7

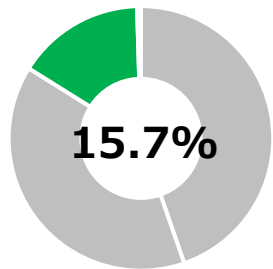
### ■ 増減要因

- 中国向けの受注鈍化に加え、アセアンの自動車市場の落ち込みによる受注減少の影響と、一部の自動車メーカーの不正問題による稼働停止の影響等が読み切れず、先行きが不透明ではあるものの、国内顧客の受注は堅調に推移する見通しであり、ほぼ前年横ばいとなる見通し。

# セグメント別業績（医療・精密機器）

（単位：百万円）

## <売上高構成比>



減収

増益

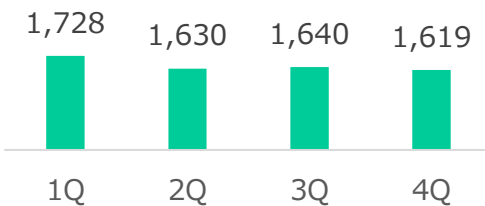
## 24/3期の業績概況

	23/3期 累計	24/3期 累計	前年比	増減額
売上高	6,889	<b>6,617</b>	96%	△272
営業利益	126	<b>166</b>	132%	+40

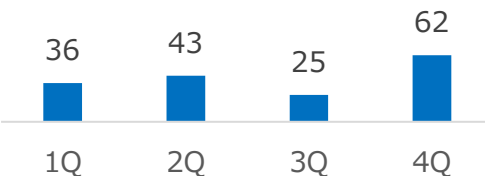
- ・ タイ（コラート）工場のプリンター関連部品の受注が、顧客の生産計画の変更による減産影響を継続して受けた。
- ・ 一方、タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注が堅調に推移したことに加え、ベトナム工場の原価低減活動が利益貢献に寄与したことにより減収増益

## ■24/3期 業績推移（Q毎）

### <売上高>



### <営業利益>



## 25/3期の業績見通し

	24/3期	25/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	6,617	<b>6,700</b>	101%	+83
営業利益	166	<b>200</b>	120%	+34

### ■増減要因

- ・ タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注は、引き続き堅調に推移する見通しだが、プリンター関連部品の受注の先行きは不透明。
- ・ 医療・精密機器セグメントとしては、医療機器部品の比重を高めるために、国内生産の能力増強を継続しつつ、先行き不透明な事業の入れ替えを進めていくため、売上高は前年横ばい、営業利益は増益の見通し。

# 【参考資料】 24/3期 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目	23/3期	24/3期	増減額
流動資産	16,582	17,753	+1,171
現預金	4,910	5,679	+769
受取手形及び 売掛金等	7,340	7,916	+576
たな卸資産	3,522	3,273	△249
その他	807	882	+75
固定資産	12,091	13,002	+911
有形固定資産	8,230	8,376	+146
無形固定資産	380	512	+132
投資その他の 資産	3,480	4,113	+633
資産合計	28,674	30,755	+2,081

科目	23/3期	24/3期	増減額
流動負債	12,713	12,557	△156
支払手形及び 買掛金等	7,725	8,212	+487
短期借入金等	2,481	1,886	△595
その他	2,503	2,457	△46
固定負債	3,430	3,405	△25
長期借入金	920	593	△327
その他	2,507	2,808	+301
負債合計	16,144	15,963	△181
資本金	3,137	3,137	-
資本剰余金、利益剰 余金及び自己株式	7,465	8,662	+1,197
その他の包括利益 累計額	1,925	2,991	+1,066
非支配株主持分	1	1	+0
純資産合計	12,530	14,792	+2,262
負債・純資産合計	28,674	30,755	+2,081



日邦産業株式会社  
経営企画部 水口、藤浪、小清水

電話 : 052-218-3161

HPアドレス : <https://www.nip.co.jp/>

## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、当連結会計年度末時点での目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1米ドル = 150円、1タイバーツ = 4.0円で計算しております。

---

## Q1. 24/3期の売上高、営業利益は、過去最高か？

A1. 営業利益につきましては、過去最高益であった23/3期をわずかですが上回ったため、最高益の更新となります。売上高につきましては、2021年度より収益認識会計基準を適用したことから、過去最高額ではありません。

---

## Q2. 設備の自動化を進める狙いは？

A2. 海外も人件費が高騰しており、よりコスト競争力を高めるために自動化を推進しております。また、自動化により品質の安定化も図れますので、これも狙いとしております。

---

## Q3. 処遇改善の内容は？

A3. 2022年度から継続して行っている初任給の改定とベースアップ等になります。

---

## Q4. 処遇改善による採用活動の効果は？

A4. 劇的に変わったということはありません。離職率の改善のためにも、より社員が働きやすい職場環境づくり等に取り組んでおります。

---